

# 京都労山

2026年6月号

No. 396

発行日  
2026年5月18日

発行所: 京都府勤労者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: ☎.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>



京都府勤労者山岳連盟

## 京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。

### 6月号目次

* 六つの合い言葉・目次	
* ステップアップ 自然保護委員会	01
* 事務局長会議報告	02
* クリーンハイクアピール	03
* クリーンハイク計画一覧	04
* 近畿ブロック「友ヶ島調査報告」	05
* 第17期初級登山学校日程表	08
* 無雪期搬出訓練の案内	09
* ヒヤリ・ハットとりまとめ	10
* 61期わかもの応援基金について	13
* ハイキング委員会愛宕山ペース登山報告	14
* 60周年記念実行委員会からのお知らせ	19
* 60周年記念実行委員会第17回の記録	20
* 大文字山登山道整備の案内	21
* 大文字山登山道整備の報告	22
* 能登半島地震被災者支援活動を終えるにあたって	23
* 平和行進ルート	28
* COMPASS オンライン講座の案内	29
* 2027年労山カレンダー写真募集	30
* 熱いお茶と甘い物はいかが「イチゴ大福」・・・橋本香代子	31
* 連載企画・二百名山登頂シリーズ第64回金剛堂山	32
* 6月号の案内	33
* 連盟月間予定表「カレンダー」	裏表紙

# ステップアップ

開発による自然破壊から山と自然を守ろう！

北陸新幹線京都延伸問題のこれまでと今・これから

自然保護委員会

労山自然保護憲章（2006年）は、「山岳での開発動向に関心を持ち、利便性にかたよることなく、事実に基づいた判断で自然がそこなわれないよう努めます」と謳っている。私たちは、北陸新幹線の敦賀以西延伸を与党PTが小浜ルートに決めて以来、京都丹波高原国定公園を縦断し京都盆地をトンネルで貫くことから生ずる自然環境への影響を強く懸念してきました。2019年の自然保護セミナーを皮切りにこの問題を7年間継続して学習し、2000年3月の定期総会からは「見直し」要望署名に取り組んできました。（機構へ1万筆以上提出済）京都の自然・環境を破壊する多くの問題点が明らかになり、京都府・市民の世論の6割は反対・見直し、知事や市長も懸念を表明、議会からも見直し決議が相次ぎ、京都仏教会も署名活動を始めました。その結果、環境アセスも途中で当初予定を4年過ぎても準備書は出ておらず、国交省も予算化を4回見送りました。2025年の参議院選挙では、このルート推進の先頭に立っていた与党PTメンバーが米原ルートを主張する候補の後塵を拝する結果となり、このルートの行き詰まりが明白となりました。しかし、組合せの変わった与党PTは新たに8ルートの費用対効果等の検証を始め、この7月までに1つに絞る方向を確認し、自治体首長等のヒアリングを始めています。JR西日本や周辺の知事からは小浜ルート推進を求める声があがっていますが、このルートは8割がトンネルで、河川や地下水の減水・濁水、砒素を含む膨大な残土の処分方法が不明等多数の問題があります。どれ一つとっても、自治体や府市民に説明がなく未だ明確な解決策が示されていません。さらに、京都駅2案のどちらをとっても、新幹線はその先の巨椋池干拓地で地上を走り、そこに最大高さ9m、長さ1.5km、幅200mの巨大な車両基地が予定されています。昨年自然保護セミナーで日本野鳥の会京都支部から講演をうけ、現地で観察会も行いました。巨椋池干拓地は京都府が「京都の自然200選」に選定している野鳥の宝庫です。現地を歩き予定地に巨大な車両基地を想像しました。タマシギやコミミズクなど夜行性の絶縁危惧種・寸前種が繁殖できずなくなることは想像に難しくありません。気候変動対策とともに人類の大きな課題である生物多様性の危機を止めプラスに転じようという国も含めた国際的な動きに逆行するものではないでしょうか。これ以上人為による必要以上の環境の改変・破壊がなされないようにすべきだと思います。まさに「千年の愚行」をやめ、子や孫の代に豊かな自然をバトンタッチすることは私たちの責務ではないでしょうか。7月にルート決定の強行がされないよう見守りながら、この問題に関心をもち府市民にさらに広めていきたいと思ひます。

平尾 繁和

## **事務局長会議報告**

(各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催)

5月7日：やましな,乙訓,右京,西山,伏見,洛中,明峯,左京 8 労山報告

### 各会の活動状況 (前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

- ・[右京]<例会>4/12 有馬富士～加茂山 19 人(一般 2 人),18 金比羅クライミング 3 人,29 公開ハイク・シャクナゲ尾根～翠黛山～大原 21 人(一般 11 人)<予定>5/16～17<sup>[60]</sup>周年バスハイク大台ヶ原 2 コース<その他>60 周年 12 月 6 日(日)会員中心の懇親会スマイルガーデンにて会費 5500 円。記念品・手拭、記念誌発行、記念山行
- ・[やましな]<例会>4/5 金剛山 10 人,8 グランドゴルフ (アクトバル宇治) 11 人<予定>5/10 星田園地,23 比良釈迦岳<その他>4 月会員 76 人,入会予定者有女性
- ・[西山]<例会>4/7～8 三方五湖(車,サイクリング)16 人,14 東海道自然歩道⑥6 人<予定>5/9 武奈ヶ岳,5/16～17<sup>⑩</sup>周年山行氷ノ山 45 人参加予定,大型バス 1 台
- ・[乙訓]<例会>4/5 能勢妙見山お花見 12 人,12 官米衛山(読図)6 人,19 鈴鹿・入道ヶ山 10 人<予定>5/10 鈴鹿竜ヶ岳,15 頭巾山,5/23～24 春合宿那岐山 3 コース<その他>7/26～28 夏山集中 立山三山・剣岳・大日岳
- ・[洛中]<例会>4/12 山行部企画地藏山・愛宕山 11 人,18(登山入門セミナー)机上受講生 21 人,スタッフ 16 人,29 春のワンディハイク(三上山)会員 27 人、受講生 19 人<予定>5/10 入門セミナー実技①大文字山,30 実技②金勝アルプス<その他>新入会員 4 名有,会員数 82 名,7/18～20 夏山集中「北アルプス、雲の平」35 名参加
- ・[伏見] <例会>4/5 公開山行小塩山 12 人,20 湖南アルプス 8 人<予定>5/10 金比羅岩トレ②,17 金比羅岩トレ③<その他>5/21 集い「ロープ危険個所の通過法」
- ・[明峯]<例会>4/11 史跡巡り③修学院～北白川 5 人,19 東山大縦走 12 人<予定>5/9 初級近畿のアルプスに登る-的形アルプス,30 初級大原 10 山
- ・[左京]<例会>4/12 小塩山 3 人<予定>5/2 比良釈迦岳,5/9 湖南・岩根山

### 連盟の取り組み、活動報告 (連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告)

- ① 4 月 18 日(土) 60 周年記念春の交流ハイク愛宕山ツツジ尾根でペース登山実施。(ハイキング委員会主催) 12 人労山 54 名参加。6 班態勢、ペースという共通のテーマがあり交流が十分図れて、活発で前向きな意見もでた。天気もよく、成功した。
- ② 60 周年実行委員会 記念誌担当より各会・クラブ活動報告の原稿依頼。フォーマット送付 A4 一枚。游明朝 12P。4 月 23 日原本送付済。9 月 15 日期限

6 月事務局長会議は、6 月 2 日(火)WEB 会議とします。

# 第53回全国一斉清掃登山・クリーンハイクへの呼びかけ

～ふるさとの山の素晴らしい自然を後世に引き継ごう～

私たち登山会員は、美しい山岳自然や貴重な山岳の動植物を守り、登山文化を広げていく使命があります。そのために、山を汚さず、ゴミは必ず持ち帰ることとしています。

また、ふるさとの山をいつまでもきれいにする目的で、1974年から全国一斉の清掃登山（クリーンハイク）を実施して今年で53回を迎えます。このような活動をこれからも続けていくために、私たちは、次の定める憲章でこれからも美しいふるさとの山を守っていきます。



2026年のクリーンハイクは、6月7日(日)に全国一斉で開催する予定となっております。コロナ感染症も落ち着いた現在、できるだけ多くの地方連盟の会員の方にご参加いただき、クリーンハイクによる自然保護活動の機運を高めていきましょう。

なお、最近は登山道周辺にはゴミが少なくなったという意見を多く頂いております。それぞれの地域により自然環境に対する多くの課題があるとも聞いており、クリーンハイクの実施に併せてそのような課題解決を図って頂きたいと思います。例えば、登山道整備・山小屋等の清掃活動・外来種の駆除活動などがあります。

また、クリーンハイクの集計も行っておりますので、実施された地方連盟の自然保護担当者等の方は、必ずご報告頂きますようお願い申し上げます。

2026年 日本勤労者山岳連盟  
全国自然保護委員会

1. ゴミはすべて必ず家まで持ち帰りましょう。
2. 全国一斉のクリーンハイク等に積極的に参加して、地元の登山道周辺の清掃に努める。
3. 山での許可を得ない植物の採取は、法律に違反しています。また、登山道から離れて貴重な植物群落に足を踏み入れることも自然環境の破壊につながるのでやめましょう。
4. 山でのトイレは、多くの方が自然の中で行えば自然への大きな負荷となります。  
トイレは必ず、登山口の周辺で済ませ、山小屋等で済ませるようにしましょう。山小屋や山岳トイレがない場合は、携帯トイレを使用するなどして山岳環境に負荷をかけないようにしましょう。
5. 特定の山やコースへの集中を避け、なるべく少人数で行動して登山道への負荷を減少させましょう。
6. 山岳の自然環境を破壊するような開発等にも関心を持ち、情報共有をして山の自然を守っていきましょう。

# 2026年クリーンプライク 計画一覧 京都府勤労者山岳連盟

NO.	山域山名	実施日	集合場所	同時刻	ゴミ収集場	申込先	TEL
1	右京労山	6月7日	榎ノ尾バス停	9:30	北区鷹峯ノ庭 町:ゴミ集積カゴ 「水室6」	村上明彦	090-8825-2154
2	洛中労山	6月7日	JR山科駅前	9:00	銀閣寺トイレ横	市田知子	090-2017-6345
3	乙訓山の会	6月7日	清滝金鈴橋表参道 登山口	9:30	高雄榎ノ尾バス 停前 聖沙門堂裏の天 文字山登山口1種 舗	松方 隆	080-1465-0053
4	左京労山	6月7日	錦林車庫前バス停	9:30		入江しのぶ	090-7119-3325
5	WAO亀岡	6月7日	JR千代川駅	9:00		谷村美知子	0771-24-0826
6	明峯労山	6月7日	哲学の道～霊鑑寺取付～善氣山～大文字山～銀閣寺	9:00	銀閣寺トイレ横	花折 忍	090-4038-1057
7	京都田辺山 友会	5月24日	新小学校下 大住ヶ丘西BS	8:30	（甘南備駐車場）	矢放加奈子 上野亮美	090-6204-3748 090-4203-1703
8	丹波労山	6月7日	市寺 橋大学	9:30 9:00		中路勇喜	080-6144-9772
9	やましな山 の会	6月7日	①光明寺～桜の馬場 ②醍醐～桜の馬場 ③大谷駅～桜の馬場 ④車で桜ノ馬場	9:00 9:00 9:00 9:00	鎌研老橋	佐々木五郎	090-1960-3683
10	西山HC	6月7日	光明寺池周辺	6月7日	①光明寺～儀仗池～放丈池	夏原典子	090-9980-6950
		6月7日	光明寺裏山	6月7日	②光明寺～遊友の丘～子守勝手神社	岡庭美恵子	080-5703-8641
		6月7日	天王山	6月7日	③小倉神社～天王山～桜の広場	野村輝行	090-6673-6018
		6月7日	サントリー山	6月7日	④権尾神社～サントリー山～天王山～桜の広場	山下美喜子	090-5977-5313
		6月7日	十方山	6月7日	⑤水無瀬の滝～十方山～小倉神社	加藤ゆり	090-5659-0625
		6月7日	浄土谷	6月7日	⑥小倉神社～浄土谷～乗願寺～小倉神社	操谷俊之	090-1916-1452
11	山城山の会	5月31日	京阪宇治駅～朝日山～森林公園林道～天ヶ瀬ダム～京阪宇治駅	9:00		東 明美	080-1428-6204
12	福知山山の会	6月14日	大江山(千丈ヶ嶽)	9:00		金山晶子	090-6916-5342
13	舞鶴山遊会	6月2日	松尾寺コース	8:00		関 年雄	090-5892-5561
14	らくなん山の会	6月7日	JR山城多賀駅	9:00		中塚光史	0774-21-4121
15	丹後山の会	6月13日	大成登山口～頂上	8:00		澤谷	
16	伏見山の会	6月7日	京阪石清水八幡宮駅	9:00		入江まりこ	080-7556-4405
17	樹の根17組	6月7日	五塚原古墳～竹の路～小畑川ハイク～竹の径～阪急洛西口駅、又はJR桂川駅	10:00		平田知子	090-7963-3450 075-921-5946

## 2026年 近畿ブロック友ヶ島ごみ調査 報告

近畿ブロック自然保護委員会は、2019年秋以降毎年友ヶ島のごみ調査を計画してきました。しかし、天候状況によるフェリーの欠航で中止になり、時期を秋から春に変え計画されましたがすべて欠航。今回金曜と日曜の2日の日程で、万一欠航の場合は1週間後に延期するという万全を期して計画し、4月17日（金）と19日（日）に無事実施できました。

### <参加者及びごみ回収実績>

- ・4月17日（金） 11：00～16：40 晴れ

14名：大阪1、兵庫5、奈良1、滋賀1、和歌山5、京都1（田辺平尾）

ゴミ：421.07kg（ペットボトル44.54、プラ246.78、缶9.08、不燃物120.67）

- ・4月19日（日） 11：00～16：40 晴れ

11名：大阪2、兵庫3、奈良2、滋賀1、京都3（田辺古川、西山猪倉2）

ゴミ：249.4kg（ペットボトル16.4、プラ37.6、缶ビン32、漁具・ブイ160.9、不燃物2.5）

### <ごみ調査に参加して 感想>

- ・4月17日（金）

前日HPを見るとその日は波が高かったのか1日欠航で、ちょっと心配しました。翌日6時にHPを確認したら出航となっていたので、6時30分に家を出ました。11時発のフェリー乗船で、加太港に集まったのは近畿各府県の14名でした。20分ほどの乗船のあと野奈浦棧橋に到着。友ヶ島のひとつ沖の島に上陸、まず南垂水海岸へ向かいました。海岸にでるとプラゴミや捨てられた漁具、流木が散乱していました。12時から1時間、全員でごみを回収。ごみの量を計測すると合計で421kgにもなりました。午後からは島内を散策、3つの砲台跡を見て回りました。友ヶ島は明治時代に整備されて約600人が駐屯していた要塞が、第2次世界大戦が終わるまであり、砲丸も作っていたそうです。標高119.7mで一等三角点があるタカノス山は展望台となっていてすぐ目の前に淡路島があり、六甲や和泉葛城山方面の山々も見え抜群の展望でした。途中には海洋性のウバメガシ、シロダモ、クロマツ等の樹木が茂っていました。1950年代に観光施設がつくられた時に、タイワンシカを導入したのが、施設廃止後も残り100頭余に増え、昨年はそのうちの一部が対岸の大阪へ上陸したと問題になっているそうです。シカには出会いませんでしたが、帰り際に棧橋近くでリスが姿を見せてくれました。南垂水海岸以外の海岸にもゴミが散乱しており、ごみのないきれいな海岸に戻ってほしいものです。暑い中の作業でしたが、近畿ブロックの仲間といっしょにクリーンハイクで交流ができてよかったです。 田辺 平尾

- ・4月19日（日）

近畿ブロック自然保護委員会から呼びかけがあった「友ヶ島ごみ調査」に本日2名参加してきました。京都からは3名、全体で11名の少人数でしたが回収ごみの量は

249kg、とにかく重かった。ペットボトル、カン、プラごみ等は勿論、漁業関係の縄や網やブイ等も島の波打ち際にどっさりありました。

西山 猪倉

4月19日の友ヶ島ごみ調査に参加しました。17日の清掃作業のおかげで、見た目のごみは少なくなっていました。流木の重なるの間にたくさんのペットボトル、発泡スチロール等が残っていました。できる範囲で流木を持ち上げて、中のごみを取り除きました。男性の方々は非常に重い漁具を運んでおられました。足元が不安定で、転ばないように気を使いました。微力ながら役に立つことができ、晴れ晴れしい気持ちです。清掃後に友ヶ島の砲台跡を見学しました。レンガ造りの建物を見て、歴史の一端を垣間見ました。

田辺 古川



調査前



回収作業



回収作業



ごみを種別に重量計測



17日 加太駅



19日 加太駅



第3砲台跡



第1砲台跡



タカノス山展望台から淡路島



東経135度子午線



キク科の花 (海岸付近)



リス

<和歌山市観光課からのお礼のメール>

大阪勤労者山岳連盟 澤村様

いつもお世話になっております。和歌山市 観光課です。

このたびは、友ヶ島の清掃活動にご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様のおかげで、島の環境がよりきれいに保たれておりますこと、心より感謝申し上げます。また、ご丁寧に実績のご報告をお送りいただき、ありがとうございました。和歌山市といたしましても、これからも友ヶ島を大切に守っていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

# 第17回初級登山学校日程表

2026年 10月4日(第一・日) 机上学習1 < >	9:00~9:20	開講式
	9:20~12:00	安全登山思想とパーティー論
	12:00~13:00	昼食
	13:00~15:00	リーダー論と目的論
	15:00~16:30	登山の歴史と登山運動

10月18日(第三、日) 実技1 歩荷トレーニング <武奈ヶ岳北稜>

10月25日(第四、日) 机上学習2 < >	9:00~12:00	読図と読図山行
	12:00~13:00	昼食
	13:00~14:30	無雪期実技山行の説明と装備
	14:30~15:30	雪山歩行技術
	15:30~16:30	積雪期実技山行の説明と装備

10月31日・11月1日(土・日) 実技2 比良山系全山縦走<八雲ヶ原テント泊>  
11月29日(第五日) 実技3 読図山行 <瓢箪崩山>  
12月13日(第二、日) 実技4 アイゼン・ピッケルワーク <リトル比良>

机上学習3 (近畿ブロック 雪崩講習会)			
12月5日(第一土)	大阪労山事務所	10:00-17:00	登山者の為の雪崩学
12月6日(第一日)	須磨浦海岸	10:00-17:00	ビーコン学習

2027年1月9日~11日(土~月) 実技5 雪山生活と滑落停止及びビーコン(ハヶ岳)  
1月15~17日(金夜~日) 実技6 近畿ブロック雪崩講習会(岐阜・大日岳)  
1月24日(第四・日) 実技7 積雪期搬出講習会(主催、連盟遭対部)

2月14日(第二、日) 机上学習4 < >	9:00~11:00	雲の話
	11:00~12:00	地上天気図
	12:00~13:00	昼食
	13:00~15:00	高層天気図1
	15:00~16:30	高層天気図2

2月27日・28日(土日) 実技8 雪山テント泊と雪上歩行訓練<比良・八雲又は荒島>

3月14日(第二、日) 机上学習5 < >	9:00~11:00	救急法・応急処置
	11:00~12:00	
	12:00~13:00	昼食
	13:00~15:00	岩登り① 概念と装備
	15:00~16:30	岩登り② 確保技術

4月18日(第三、日) 実技9 岩稜縦走トレーニングとそのための技術①  
4月25日(第四、日) 実技10 岩稜縦走トレーニングとそのための技術②  
5月16日(第三、日) 実技11 岩稜縦走トレーニングとそのための技術③  
5月22・23日(土・日) 実技12 夜間登山とビバーク(愛宕山)

6月13日(第二、日) 机上学習6 < >	9:00~12:00	テーピング
	12:00~13:00	昼食
	13:00~15:00	遭難対策
	15:00~16:30	修了山行ミーティングと計画書

6月20日(第三、日) 実技13 岩稜縦走トレーニング<Y懸尾根から焼杉山>④  
6月27日(第四、日) 実技14 無雪期搬出講習会(主催、連盟遭対部)  
7月4日(第一、日) 実技15 岩稜縦走トレーニング⑤<確保技術・ロープ操作>  
7月11日(第二、日) 予備日  
7月23日~25日(金・日) 実技16 修了山行「西穂高岳から奥穂高岳への縦走」  
8月27日(金) 机上学習7 「まとめ」と修了式+

## 京都府勤労者山岳連盟

〒616-8042 京都市右京区花園伊町4 TEL075-275-0453、Fax075-468-1793  
問い合わせ先：教育委員会 村上晃弘 Eメール：memento17mori@gmail.com  
TEL：090-8572-7886

## 2026年度 京都府連盟 無雪期搬出技術講習会のご案内

山岳遭難事故は、毎年発生しています。京都府連盟では、事故に遭遇した時に2次事故を防止し、安全な場所へ搬出するための技術講習会を下記のとおり行います。コンパニオンレスキュー想定なので、山行に持参している装備を使用しての現実的な訓練になります。簡易ハーネスと2本の60cmスリングの結び方、その2本を付け替えての登り降りとカラビナスルー、ポールを使ったザック搬送、防獣ネットでの搬送を予定しています。

今年度の応急手当担当は田辺山友会で、三角巾のたたみ方、直接圧迫止血、前腕の固定と吊り方、足首の固定等を実施予定です。是非ご参加ください。

### 無雪期搬出技術講習会実施要項

1. 実施日 : 2026年6月28日(日) 雨天決行
2. 会場 : 安祥寺林道入り口 (JR山科駅徒歩30分)
3. 予定 : 9:00~ 受付開始  
9:30~ 訓練開始  
15:30 解散予定
4. 持ち物 : 日帰装備一式 必須=ヘルメット、三角巾、テープスリング 120or150cm、60cmスリング×2、カラビナ×3 (1つは安全環付)  
あれば=5~10m以上の細引き、ロープワーク用のロープ
5. 参加条件 : 労山基金、又は、民間山岳保険加入
6. 予習のお願い : 三角巾のたたみ方、フィギアエイトフォロースルー他

★各会にて参加者の集約をして申込み表を遭難対策部まで送付してください。

送付先は6月号にてお知らせします。

★申込み表は事前に各会へ送ります。

★参加会には事前にテキスト、予習方法をお送りします。

★参加者の連絡先、留守宅氏名、連絡先は現地参加責任者が把握してください。

## ヒヤリハット・事故報告まとめ

京都労山遭難対策部

2026年 3月 8日 78歳 女性  
飯道山 標高 450m (滋賀県)

事 象 スリップ転倒・転落 手をついた  
昼食後に出発15分後、階段の中央が崩壊している為谷側の細い斜面を通過する際にスリップし転倒谷側に転落した。落ちたところが笹の ブッシュであったため怪我は無かった。痛みもないとのことで直ぐに下山開始した。

教 訓 細い谷側の斜面を歩く場合、何らかのアクシデントがあると危険である。山側を歩くよう徹底する。  
また、高齢になりバランスが悪くなっている事を考慮し慎重に行動する。

2026年 3月21日 69歳 男性  
硫黄岳 美濃戸登山口手前の最後のショートカット  
1540m付近

事 象 スリップ転倒・転落 手をついた  
硫黄岳から美濃戸口に下山途中で林道をショートカットしている時に少し大きな段差で下した左足が滑り左手をついた。足を置いた場所が傾斜があり少し湿っていた。

教 訓 足を下す場所の状況を良く見る。

2026年 3月29日 72歳 女性  
赤岳 2,899m 行者小屋から南沢ルート (ショートカット)  
1,820m 付近

事 象 スリップ転倒・転落 手足をついた  
行者小屋からの南沢ルート下山中の林道ショートカット 1820m 付近で所々アイスバーン状の道で段差のある場所において右足が滑

り左手足をついた。転倒後少し痛みがあったが、小休止後にメンバーのチェーンスパイクを借り下山した。

教 訓 足を下す場所の状況を良く確認し、より慎重に歩くようにすべきだった。

2026年 3月27日 75歳 男性  
新潟県・角田山・古墳コース・約260m

事 象 転落 足以外で着地  
尾根上のやや急な上り坂を登山中、前歩者が写真を撮っていたので待機していた。粘土質の道が湿っていてスリップしてバランスを崩して転落し1回転して止まった。すぐ立ち上がり登山を続行した。傷はすり傷程度だった。

教 訓 登山道での待機中でも、土質や木の根等によりスリップする事もあるので、気を緩めず安全確保をしながら待機することが大事である。

2026年 3月29日(事故) 58歳 女性  
小脇山373m・箕作山・太郎坊山

事 象 スリップ転倒・転落 手をついた  
「太郎坊山例会」小脇山から箕作山に向かう緩い下り坂で滑って尻もちをついた。左手首を突き捻った。湿布を貼って下山。鞍馬口病院の整形外科を受診、手首骨折と言われギブスをつけている。手術ではなく通院で治療をしていくとのこと。

教 訓 会員の友人で登山歴は少ない。下りの歩き方に慣れていないかも。15人パーティーで十分な注意喚起ができていなかった。今後70代の方の一般参加もあるのでCL、SLの細心の注意が必要。

2026年 3月29日 70歳代 女性  
須磨アルプス 高御位山304m

事 象 こむら返り 回復し登山続行  
急な登りで足攣りが起こった。すぐに芍薬甘草湯を服用し、冷却スプレーで患部を冷却、マッサージ後、症状が回復し登山を続けた

教 訓 短い休憩をこまめに取るべきであった。

2026年 3月29日 70歳代 女性  
須磨アルプス 高御位山304m

事 象 こむら返り 回復し登山続行  
登山開始約2時間後、急な登りで足に違和感があった。すぐに芍薬甘草湯を服用し、冷却スプレーで患部を冷却、マッサージ後、症状が回復した。下山後、一般道を歩行中に足攣りが起こり同様の処置を行ったが痛みがひどく歩行が困難であったため、偶然車で通りかかった方のご厚意で最寄り駅まで乗せていただいた。

教 訓 短い休憩をこまめに取るべきであった。

## わかもの応援特別基金創設・公募について

京都府勤労者山岳連盟 常任理事会

京都労山の会員から、青年会員と安全登山のために使って欲しいという願いを込めて50万円の寄付を受けました。

常任理事会では、この寄付金の有効な活用法を論議し、下記の内容で基金を設け運用することとしました。積極的な活用をお願いいたします。

### 記

名称：わかもの応援特別基金

目的：青年会員（50歳未満）が登山技量を向上させるために開催される各種講習会へ参加することを財政的に援助する。

### 運用

・支援対象講習会の範囲

①常任理事会で決定し、機関誌等を通じて公表する。

②会員よりの提案を受け常任理事会で決定する。

・援助の内容

①各種講習会の受講料の補助を行う。

②既存の補助制度と併用して受講料の2分の一を補助する。

③補助の上限は3万円とする。

・援助対象者の決定

会を通じて常任理事会に援助を申し込み討議の上決定する。

・援助を受け受講した会員の義務

援助を受け講習会等に参加した会員は、受講によって得た知見をまとめ、常任理事会に報告する。常任理事会は必要に応じて機関誌等で公表する。

・基金の財政

基金の財政は寄付金を財源とし、一般会計からの繰り入れは行わない。

・その他

この基金の運用方法は、常任理事会が改廃を決定する。

以上

2019年1月28日決定

### 61期の支援対象講習会（2026年3月1日～2027年2月28日）

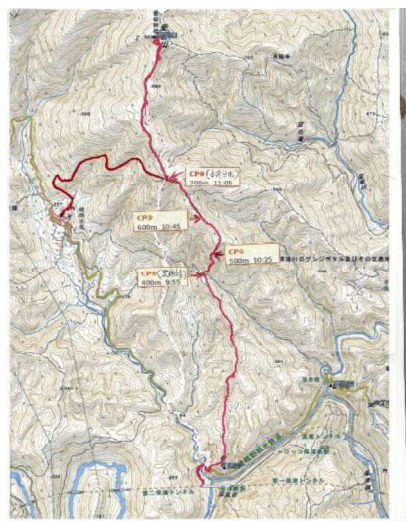
- ・全国若手クライミング講習会（今期は開催予定無し。例年10月小川山）
- ・近畿ブロック雪崩講習会（机上2026.12.05-06 実技2027.1.16-17 予定）
- ・全国雪崩講習会（2027年1月29日-1月31日）近ブロ雪崩講習会参加後推薦
- ・京都連盟で開講されていない他都道府県連開催の上級登山学校（大阪中級等）
- ・その他会員より提案で常任理事会が認めた講習会等

# 山行報告書

京都労山ハイキング委員会 報告者：田辺山友会 中村康信

山名	愛宕山 (924m) ペース登山	山行名	京都労山 60 周年 記念春の交流ハイ ク
ルート	JR 保津峡駅 → つつじ尾根登山口 → 水尾の分かれ → 愛宕山 → 水尾の分かれ → 水尾 → JR 保津峡駅		
山行日	2026 年 (令和 8 年) 4 月 18 日 (土)	天候	晴れ時々曇り
参加者	リーダー：中村康信 (田辺山友会) サブリーダー： 高岸美由紀 (らくなん) 総参加者 54 名 (11 山岳会) 男性 21 名・女性 33 名 田辺山友会 15 名、西山ハイキ ングクラブ 11 名、らくなん 6 名、左京労山 4 名、右京 労山 4 名、伏見山の会 4 名、乙訓山の会 3 名、樹の根 17 組 2 名、やましな山の会 2 名、福知山山の会 2 名、 洛中 1 名		

【ルート概略図】



【コースタイム】

地名	着	発	地名	着	発
JR 保津峡駅	-	8:32	愛宕神社階段 下	12:17	13:16
CP1 (荒神峠)	10:05	10:15	水尾登山口	14:37	14:42
CP2 (約 500m)	10:36	10:41	JR 保津峡駅	15:34	-
CP3 (約 600m)	11:05	11:09			
CP4 (水尾の岐 れ)	11:30	11:35			

※時刻は先頭 1 班 (出発) ・最終 5 班 (CP1~CP4) ・最後尾の時刻

## 山行報告

### (1) 目的と概要

本山行は「自分にとってどのくらいの速度が、どのくらいきついのか」を知ることを目的に実施した。荒神峠 (CP1) から標高 100m ごとに目標ペース速度を段階的に上げながら水尾の岐れ (CP4) まで歩行し、各チェックポイントで脈拍と主観的強度 (RPE) を計測・記録することで、登山中の体感を数値化した。



## (2) 班構成

班	人数	班長	副班長	年齢範囲	所属山岳会（主）
1 班	10 名	阪口千世美 （洛中）	山下美喜子 （西山）	66～77 歳	西山 HC・やましな・左京・洛中
2 班	8 名	近藤進 （右京）	高野寛（伏見）	47～77 歳	伏見・樹の根 17 組・らくなん・福知山
3 班	9 名	野村輝行 （西山）	奥田茂 （らくなん）	64～76 歳	田辺・西山・左京・らくなん
4 班	8 名	井上哲 （伏見）	吉田正（伏見）	57～75 歳	田辺・伏見
5 班	9 名	西村悦治 （乙訓）	近藤直人（乙訓）	58～79 歳	田辺・乙訓・右京
6 班	8 名	永井龍子 （らくなん）	上島志美子 （らくなん）	52～71 歳	田辺・西山・乙訓・らくなん

## (3) 区間別ペース設定

区間	区間名（標高）	目標ペース	YAMAP ペース目安	備考
第 1 区間	JR 保津峡→CP1（約 80m→400m）	自由ペース	—	班ごとに自由な速度で登る
第 2 区間	CP1→CP2（400m→約 500m）	300～350m/h	100%	規定ペース開始
第 3 区間	CP2→CP3（約 500m→600m）	400～450m/h	130%	ペース増加
第 4 区間	CP3→CP4（約 600m→700m）	450～500m/h	150%	最大ペース

## (4) 行動記録

CL 中村（最後尾）、SL 高岸（遊撃）のもと、JR 保津峡駅を 1 班から 3 分間隔でスタートした。各班は班長が先頭でペースを先導し、副班長が後尾を担当した。

- ・ 第 1 区間（自由ペース）：3 班が先頭に立ち、5 班が最後尾となった。3 班の K 氏が遅れ、副班長と後尾で別行動となった。
- ・ 第 2 区間（300～350m/h）：5 班の H 氏が遅れ、副班長と後尾で別行動となった。
- ・ 第 3・4 区間：各班が目標ペースを維持しながら水尾の岐れ（CP4）まで歩行。
- ・ 愛宕神社階段下（CP4 以降）：各班別に昼食をとり、その後全員集合。班ごとに感想を話し合い、班長がまとめて発表した。
- ・ 下山：1 班を先頭に 1 分間隔で水尾へ下山開始。水尾登山口には 2 班が最後に到着。JR 保津峡駅にて班員全員の到着を確認し、各班ごとに解散。

なお、ツツジのピンクと新緑の緑が非常に美しい対比を見せ、参加者を癒した。水尾から JR 保津峡駅への帰路では、地域自治会運営の臨時送迎バスの配慮をいただいた。

## (5) ヒヤリハット なし

## 測定結果・分析

### (1) 主観的強度（RPE）とは

RPE（Rating of Perceived Exertion：主観的運動強度）は、運動中の「きつさ」を6～20の数値で表す指標。安全に登山を続けるには「きつさを感じる手前（RPE11～12）」のペースが推奨される。

RPE 値	感覚	具体的な目安
19	非常にきつい	ほぼ限界に近い強度
17	かなりきつい	短時間しか続けられない
15	きつい	会話がほぼできない
13	ややきつい	会話が難しくなり始める
11～12	★目標範囲	60分以上会話しながら歩けるペース。鼻呼吸のみで登れる。歩きながら行動食・水分補給が可能。
9	かなり楽	十分余裕がある
7	非常に楽	ほとんど負荷を感じない

### (2) 区間別平均 RPE・脈拍（全体）

有効データを持つ全参加者の区間別平均値。ペース増加とともに RPE・脈拍が段階的に上昇していることが確認された。

指標	CP1（自由）	CP2（300～350m/h）	CP3（400～450m/h）	CP4（450～500m/h）
全体平均 RPE	11.5	12.4	13.2	14.1
全体平均 脈拍（回/分）	87	103	111	115

【ポイント】CP2（300～350m/h）では目標 RPE11～12 を達成した参加者が最も多く、今回の参加者層（平均約68歳）にとって最も適切なペース水準であることが確認された。CP4（450～500m/h）では半数以上が RPE13 以上となり、高負荷域に達した。

### (3) 目標 RPE（11～12）の達成率

区間	目標内（RPE11-12）	過負荷（RPE13以上）	余裕あり（RPE10以下）	達成率	評価
CP1（自由ペース）	28名	7名	14名	57%	やや高い
CP2（300～350m/h）	28名	12名	9名	57%	適切水準
CP3（400～450m/h）	19名	24名	4名	40%	やや高負荷
CP4（450～500m/h）	13名	31名	3名	28%	高負荷

## 参加者感想（各班代表）

### 1班 西山ハイキングクラブ 江本成次

今日はいつもの西山ハイキングクラブの幹になる京都労山、連盟ハイキング委員会主催の交流山行。集合場所の普段は無人駅である保津峡駅もザックを背負った人で溢れています。今回参加は 54 名、6 班に別れての山行で事前に心拍カウント方法などの注意事項説明を受けスタート。私は 1 班で参加、20 年前はマラソンの練習時にペース配分を正しくコントロールするため心拍数をよく測っていましたがリーダーが計測地点ごとにペースを変化させられたので久しぶりに心拍の重要性を認識し、個々に無理のないペースで歩くことの重要性（私の場合 90~110 程度の心拍）を認識できた良い参考でした。今回の山行では S30 年の私にとって大先輩にあたる S23 年の方の昔話も大きな声で伺うことができ大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。交流ハイクを主催していただいた方々、リーダーをしていただいた方々、個々にペースが違うため班の順序が入れ替わったりと大変だったろうと思います。ありがとうございました。最後に柚子の里から保津峡駅までの地域自治会運営送迎バス！ラッキーでしたね。大人数で活動している場合のメリットもあるんですね。

### 2班 樹の根 17組 寺田ゆり子

初めて労山の催しに参加させていただきました。60 人もの参加でもっとわちゃわちゃするかと思いきや、皆さん協力的で「さすが！」と思いました。ツツジ尾根から登り、水尾へおりの初めての行程で、特に下りが辛かったですが、何とか歩けて駅に到着した時、思わずバンザイしました。測定は班長さんの的確な指示でスムーズでした。途中、花を見つけると道草して遅れがちな私、何度もお待たせして申し訳ありませんでした。他の会のお話も聞けてとてもいい経験でした。班長さん、副班長さん、班メンバーの皆さま、ありがとうございました！

### 3班 西山ハイキングクラブ 水谷小百合

今回はじめて労山の交流会に参加させていただきました。というのもテーマが「一生ものの歩き方」をマスターするペース登山だったからです。安心な自分なりの登高ペースとは具体的にどういうものなのかということを実感したかったのです。ヤママップを利用して登高速度が 100%、130%、150%の時に歩くきつさの感じはどうか？またその時の脈拍数はどうか？を数値として見える化して自分はどのような負荷で歩くのが調子がいいのかということが体感できました。自分の疲れない速度を把握したことを、今後の山行に活かしたいと思います。また同じ思いで活動している同労山他エリアの方々と交流することで楽しい時間を過ごすことができたことと、何かしら私たちも頑張らなきゃという励ましの気持ちになれたことがよかったです。今回の企画をしていただいた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

### 4班 伏見山の会 吉田正

私もいよいよ後期高齢者にさしかかり、心身ともに機能は低下し、知らず知らずにケガや事故、持病の悪化等と一緒に登山をする仲間に変な迷惑をかけるかもしれない。こんな心配で「高齢者（老人）としての山登りの在り方」「セルフコントロールできる登山者になるには」と真剣に考えるようになっていました。こんなおり、「ペース登山・一生モノの歩き方」の案内をみて、早速応募し学ぶことにしました。標高 100m ごとに目標ペース速度を変え、その都度チェックポイントで「脈拍」「主観的なしんどさ」を記録し、自分に合ったペースを身体で覚える訓練です。私は毎月愛宕つつじ尾根を 8kg 以上のボッカで社務所まで 2 時間で登る体力測定を続けています。その身体的きつさは今回の「ペース登山」では脈拍 110~120 前後で RPE13~14（ややきつい~きつい）程度であった。安全で疲労を溜めない RPE は 12~13 が推奨されていて、鼻呼吸で会話をしながら歩き続けるペースといわれています。こうした連盟主催の登山技術向上や各種教育訓練の場の提供はありがたく、会にも広げ、会員の更なる向上に繋げていきたいと思っています。

### 5班 京都田辺山友会 仲野郁代

標高ごとにペースを調整しながら歩き、脈拍や主観的なきつさを記録する中で、自分にとって無理なく会話ができるペースや、立ち休憩でどのくらいで脈拍が落ち着くのかを体感的につかむことができました。春のやわらかな空気とつつじ尾根のつつじの彩りにも癒され、心地よい山行になりました。さらに、他の山の会の方々と自然に会話が生まれ、それぞれの山行スタイルや工夫、体調管理の話などを聞いたことはとても刺激的で、視野が広がる貴重な時間となりました。夏山集中登山の話や各会

でのペース登山の工夫についても盛り上がり、実践的な学びと交流が深まる充実した一日となりました。

## 6班 京都田辺山友会 魚谷文作

登山中息が切れやすい、少しでも勾配がキツくなると途端に呼吸がキツくなる、そういった自覚症状を常に持っていました。メタボ体型が原因なのは明らかで、減量すればいいということになるのですが、これが中々難しい。であれば、別の角度からこの問題に取り組めないかということで、今回のペース登山に参加いたしました。高齢者でも疲労せずに歩き続けられる「安心な登高ペース」の目安とされる1時間で標高差300~350mを体感するため、そのペースから徐々にペースをあげていき、さらにペース毎での脈拍と主観的なキツさを記録。YAMAP使用の正確な登高ペース把握は結構難しく班長さんも苦労されていましたが、確実なのは脈拍と主観的なキツさの明らかな相関性。私の場合、脈拍120前後が丁度いいキツさの体感。そしてこの時のペースが上記「安心な登高ペース」と概ね一致。結論として、脈拍をモニターしつつペース調整して登ることの大切さに気付いた次第です。なお今回の山行にあたり、脈拍と標高をリアルタイムに計測表示できるスマートウォッチを導入。今後も大いに役立ってくれそうです。

## 総括と今後の課題

### (1) 成果

- ・ 54名・11山岳会という過去最大規模での実施が成功裏に完了し、15:34に全員安全に下山した。
- ・ 参加者が各自の適正ペースを体感的に把握できたことが、各班の感想から確認された。
- ・ 「脈拍とRPEの相関」という科学的なアプローチによるペース管理の有効性が実証された。
- ・ 11山岳会の垣根を越えた交流が活発に行われ、交流ハイクとしても大きな成果を上げた。

### (2) 課題と改善策

No	課題	内容	改善策	優先
1	スタッフ不足	遅れた参加者のフォローを一般参加者の副班長に依頼せざるを得なかった	スタッフ増員または参加規模の縮小	高
2	YAMAP精度	リアルタイム表示の遅れによりペース管理が困難だった	専門家相談・複数回実施による経験蓄積	高
3	参加条件	愛宕山初心者の参加により想定外のフォローが必要となった	参加条件（愛宕山3回以上経験）の設定	高
4	集合誘導	受付時の班集合場所が分かりにくかった	プラカード・班番号の視覚的目印を用意	中
5	コース管理	チェックポイントのテープが見つからないケース発生	事前下見の徹底・独自マーキングの実施	中
6	通信手段	トランシーバーの通信距離に限界があった	通信手段の見直し（携帯電話等の活用）	中
7	役割周知	副班長の役割理解が一部不十分な班があった	班長・副班長への事前説明の徹底	低

## 京都労山 60 周年記念行事

### 《記念講演会 & 交流分科会》～お知らせ 第 2 号～

60 周年記念事業のメインテーマは、

「“京都 18 労山の交流”と“世代間での経験・登山技術の継承”」です。

メインの取り組み(交流企画)として、“記念講演会 & 交流分科会”を実施します。分科会は 150 人、講演会は 350 人規模の会場を準備していますので、多くの参加をお待ちしています。参加費は、無料です。

開催日：11 月 14 日(土) 場所：京都教育文化センター

#### 午前／交流分科会 ①各山岳会の活動報告会 ②連盟活動報告会

①では、あまり対面で聞くことのできない他会の活動を写真などを見ながら報告していただき、会の垣根を越えた交流の場と、京都労山加盟の山岳会全体がより活発に活動できるきっかけとなる場にできればと考えます。

②では、青年委員会と女性委員会の休会など連盟活動が以前より縮小してきている中で、各委員会の活動とその必要性を改めて知ってもらう場として、機関誌では伝えきれない話を写真などを見ながら報告します。

※①と②は別会場で行います。

#### 午後／記念講演会

①《いつまでも元気に楽しく登山を続ける為の秘策》講師:安藤真由子さん  
疲れにくいペース作りや歩き方、日常生活でできる登山のためのトレーニング方法など、何故それが大事なのかをお話しして頂きます。  
プロフィール：登山の運動生理学を学び、2005 年鹿屋体育大学院修士課程修了。健康運動指導士、登山ガイド。

②《労山とともに》講師：飯田昌和さん  
自分史を振り返りながら、様々な山登りジャンルの魅力と、登山者として大切なこと(考えや気持ち、心構え)について、お話しして頂きます。  
プロフィール：大学卒業後、上京明峯(現 明峯)に入会。国内の雪山やバリエーションルート、ヨーロッパアルプスの登山歴など。

開始・終了時間など、詳細は次月号で案内させていただきます。問い合わせなどは、各会の 60 周年実行委員までお願いします。※10 月 31 日予定の交流山行は未企画になりました。

担当：60 周年実行委員会(田辺／山城／らくなん)

第 17 回実行委員会(京都労山 60 周年記念事業) 記録 平尾

2026 年 4 月 15 日(水) 19 時 30 分～20 時 40 分(リモート専用)

参加者：宮内・安倉(田辺)、沖(山城)、岩根(左京)、高木(右京)、金山(福知山)、  
青山(やましな)、奥田・安田(らくなん)、花折(明峯)、近藤(乙訓)、野原  
(WAO)、西村、坪山、平尾(連盟)/15 人(敬称略)

<報告事項>

- ①春の記念交流山行 4 月 18 日(土) ハイキング委員会主催。12 労山 57 人申込。  
6 班体制、田辺中村、らくなん高岸を主に、ハイキング委員を中心に各班班長・副  
班長を決め、ペース登山を実施。愛宕山ピークにて交流会予定。  
4 月 4 日下見予定が雨のため労山事務所で打ち合わせ、8 人参加。4 月 12 日ハイキ  
ング委員他有志 8 人で下見。
- ②4 月 9 日(木) 交流会担当 3 労山(田辺、らくなん、山城) から 4 人と委員長以下 3  
人でライン会議、前回実行委員会での検討事項を討議。11 月 14 日の記念集会の方  
向をほぼ決め、本日の検討に付す。
- ③4 月 6 日(月)60 周年記念誌担当 5 名で、各会からの活動内容報告のフォーマットを  
決定(別紙添付)。A4 一枚、游明朝 12P、本文 407 文字、写真を添え、9 月中旬締切。  
京都労山 5 月号に原稿掲載、フォーマットをメール送信。あわせて各委員会に活動  
内容の報告(A4 一枚)を求める。発行は 27 年 3 月総会。

<検討事項> 11 月 14 日(土) 記念集会について、以下を確認、決定した。

- ①午後 1 時から 5 時まで講演会開催。教文センターホール(360 人収容シアター形式)。  
安藤真由子氏と労山 OB の飯田氏の講演 2 本立。  
1 時半から 3 時まで安藤講演 90 分(講演 75 分、質疑 15 分)。内容「いつまでも元気  
に楽しく登山を続けるための秘策—ペース配分、歩き方、トレーニング」、疲れない  
ペース作りや歩き方、日常生活でできるだけ登山のためのトレーニング方法などを、  
何故それが大事なのかを分かり易く伝える。その後 30 分休憩で体を動かす。  
3 時半から 5 時まで飯田講演。講演の内容を詰めて(4 月中に概要送付あり)、案内  
第 2 弾を作り、京都労山に掲載。案内が出来れば、各会にメール送信する。
- ②午前中は、各会クラブ紹介と各委員会活動報告会を開催。教文センター 101 号室(60  
～70 人)、301 号室(60 人)を使い、内容、方法は各会・クラブ、委員会の任意とし、  
具体的にやっている内容を映像、インスタを使い参加者が理解しやすいものに。両  
室とも 2 時間、20 分立 6 本くらい。会紹介は 5 会ぐらいに声をかける(会誌や写真  
展示は 205 号室利用)委員会報告は 6 部・委員会等予定、各報告の前段に労山の組  
織構成等を簡単に紹介。参加者の移動は自由。
- ③秋の交流ハイク(10 月 31 日予定)は、3 労山より 2 週間で大きな行事を二つこなす  
のは難しく、記念講演会に集中したいとの希望があり、行わないことに決定

<その他>

- ・交流担当 3 労山以外の実行委員の中から講演会の司会等の積極的分担を要請
- ・経費は立替え、会計(沖)まで請求する。支払方法は検討。

<次回> 第 18 回実行委員会 5 月 20 日(水) 19 時 30 分～ WEB

## 京都府連盟登山道倒木整備 一大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

4月から新島裏のお墓の南の方を整備していします。行きかう登山者が多く整備のやり甲斐があります。登山者に迷惑がかからないように整備します。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得て実施しています。伐採する倒木には1本1本管理事務所の伐採許可番号札が貼り付けられています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

★実施日：6月13日 7月11日（いずれも土曜日）

本降りには中止。小降りは状況によって実施。天候が怪しい時は前日か当日の朝早く判断して中止メールを送ります。

★申し込み締め切り：実施週の月曜日

★集合場所：南禅寺タクシー乗り場横の山門 8時30分には出発します

★参加申込先：連盟登山道整備担当 やましな山の会 青山郁夫

080-3797-4392 携帯メール [2382m.ikuoi025@ezweb.ne.jp](mailto:2382m.ikuoi025@ezweb.ne.jp)

留守宅（緊急連絡先）も教えて下さい。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カップ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）お弁当、救急薬品 ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ（任意）、笑顔（必携）  
必要に応じて簡易ハーネス、カラビナスルー装備、自己確保装備

★共同装備：9mm.8mm ロープ、ビニール紐、カラビナ、ダック、サムスプリント

★その他

- ・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
- ・木が1/3切れたら声を掛けること。1/3でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
- ・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。
- ・切った木を運ぶ時も木がどう動くか予測しておく。
- ・コロナはまだ続いています。インフルエンザも心配です。

本人や同居家族で微熱や、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来に行ってください。



## 京都府連盟 ～大文字山登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

2026年4月11日（晴れ）

やましな：郁夫 久子 右京：西村澄子 荒木賢子 河合恵子 田辺：宮内毅

蹴上駅 8:28—南禅寺山門休憩—広場休憩—金魚の池見学—9:40 尾根道整備 15:20—山門反省会—16:20 蹴上駅

今回から南禅寺奥の新島裏のお墓の東側の整備を始めました。安祥寺上寺跡の登山道とは違い、ここの登山道は行きかう登山者が一杯。30 数人もの登山者と逢いました。登山者の安全確保のために迂回路を作って作業をしました。時折「ご苦労様です」「ありがとうございます」などと声を掛けて下さり整備のやりがいを感じました。

西村：今年初の、金魚の池でした。池の回りが変わっていて池に入る水の流れが変わっていて水が少なくなっていました。意外でした。

荒木：登山道整備にはとてもいい気温で、汗もかかず整備も順調に進み良かったです。やはりメインコースなので、登山者も多く、事故のないように気をつけました。新緑が綺麗でした。

宮内：初めて蹴上から入って登山道整備をした。現地まで近いのありがたい。金魚の池も見られてよかった。結構倒木があったのと、人も通るので今年一年やり甲斐がある。

河合：久しぶりの参加で作業場所も変わっていました。斜めに倒れていた木が片付くと、空が見え辺りも明るくなります。駅から遠くないので楽だなあと思っていたけれど、やっぱり家に着く頃にはガタガタでした。

久子：以前に金魚の池や新島裏のお墓の東側を整備した時からずいぶんと月日が経つのをを感じる程 結構倒木や朽木がありました。やってもやっても小枝や朽木が目につきます。特に斜めに倒れている木の下で若木が新芽を出しているのが健気で救出したくなります。



杉の大木が登山道に寄りかかっている



みんなで力を合わせて切った倒木を運ぶ



登山道に倒れてきそう松の木。



運べるように切る

京都府連盟 能登半島地震復興支援ボランティアを終わるにあたって

連盟ボランティア担当 やましな山の会：青山郁夫

2024年の元旦、突然、能登半島を襲った大地震。多くの人たちが一瞬で苦難の道歩くことになりました。そんな中、地震で困っている人たちを助けてあげたい、生活再建のお手伝いをしてあげたいとの思いで2024年2月から始めた京都府連盟取り組みの能登半島地震復興支援ボランティアも継続が困難となり3月で終了しました。

これまでの活動は微力ではありましたが能登の方々のお役に立てたかと思っています。

ボランティア活動を通じて幾人もの京都府連盟や石川労山山の会の方と交わることができ交流を深めることができました。遠くに住むお友達や40年振りに合った昔の知り合いと一緒に能登に行くこともできました。

日本全国から来られた志を同じくする多くの仲間と知り合いになり、語り合い、力を出し合って一緒に活動をして充実した日々を過ごせたこともとても良かったなと思います。

被災者に寄り添い、時には被災者に寄り添ってもらって、この2年間、活動を続けてきました。活動した被災者のおうちを去る時の、おじいちゃん、おばあちゃんが笑みを浮かべて「ありがとう、ありがとうね。」と繰り返す見送りの言葉に「来て良かったなあ、お手伝い出来て良かったなあ。喜んでもらえて良かったなあ」と嬉しさを感じこれからの励みになりました。

これまでに130軒を超える被災者のおうちに行きました。住んでおられたのは過疎地、市街地を問わず多くがおじいちゃんおばあちゃんでした。地震と追い打ちをかけた2024年9月の豪雨。家の中はひっくり返って家財が散乱するのは当然として、2年も経つのに家財が散乱しているおうちの中で一人で暮らしている方も何人かおられました。

家は公費解体が出来ても再建は難しいです。子どもたちは都会に出て帰ってこないで家を立て直しても長く住む人はいません。実際に公費で解体された更地は多いけど新築の家は極僅かです。仮設住宅、みなし住宅も入居期間が限られおりいずれは退去しなければなりません。これからはどこかの公営住宅やアパートに住む以外になく余生は故郷から遠く離れた地、知り合いがいなく話し相手がない地で暮らさなければなりません。

そんなことを思うと何ともやりせなく思います。ただ、おじいちゃんおばあちゃん、これからも体を大事にして笑顔で元気で長生きしてねと願うばかりです。

さて、2024年2月から2026年3月までに私の他に12の方がボランティアに参加さ

れ、実績としては、活動回数 61 回（この内、労山石川県連の活動 9 回）、活動日数 114.5 日、延べ参加者 137 人、被災者宅活動 138 軒に及びました。これらは予想外の多くの参加があったからこそです。感謝いたします。

なお、私はほぼ 1 ケ月に 2 回程度、能登に行きました。登録者のみなさんとは 3 回に 1 度の割合で一緒に行けてよかったです。

穴水町、能登町、七尾市、志賀町、輪島市は昨年で一般募集が無くなり、おらっちゃ七尾も今年の 3 月で定期募集が無くなりました。珠洲市は募集人数が少なく募集開始から 10 秒で定員一杯になります。現状では、組織的に継続して能登のボランティアに応募するのは困難な状況となりました。（各所の NPO によるボランティアは未永く続きます）

ボランティアの一般募集が少なくなるのは復旧が進み復興に向けて進んでいることの証でもあり喜ばしいことです。取り残される人がいないよう一日も早い能登の復興を望んでいます。

私は頻度は大幅に少なくなりますが機会があれば、これからも地場産業復興支援も含めたボランティア活動に参加して少しでも困っている人のお役に立てればと思っています。

ところで、これまで私たちの活動は復興支援としていましたが、実際に今までの活動を振り返ると、お手伝いをした内容は復興支援ではなく復旧支援でした。2026 年の活動を振り返ると、やっと復旧支援から復興支援に移り行く兆しが見受けられるようになりました。しかし、まだまだ支援の手を待ち望んでおられる方も大勢おられます。精神的にも物理的にも一日も早く立ち直って能登に明るい日が訪れることを願ってやみません。

今回のボランティア活動は、私自身を含め参加者の誰もが人生の貴重な体験になったことと思います。登録はしたけど都合がつかなくて参加できなかった方も、機会があれば行ってみよう、行ってみたいという気持ちだけでも嬉しく思います。

長い間、能登半島地震復興支援ボランティア報告に目を通して頂きありがとうございます。災害ボランティアとはどのようなものか、何をするのか分かって頂けたかと思いません。山の活動、地域の活動、社会貢献活動も同じですが「誰かのために何かをする、何かをしたい」「喜んでもらえるために何かをする、何かをしたい」そんな思いをいつまでも持って、先の短い人生、余生を悔いのないように頑張って生きて行きたいと思っています。

長い間、ありがとうございます。能登半島地震復興支援ボランティアに行けて良かったです。

京都府連盟 能登半島地震復興支援ボランティア活動集計 (2024年2月～2026年3月)

	京都府連盟 登録者	参加者	活動回数	活動日数	延 参加人数	被災者 宅活動	その他 活動件数
2024年	17人	11人	25回	42日間	62人	56軒	3件
2025年	18人	7人	29回	60日間	61人	69軒	6件
2026年	18人	3人	7回	12.5日間	14人	13軒	6件
計	-	13人	61回	114.5日間	137人	138軒	15件

2024年2月14日初めて参加 2026年3月29日最終参加 2026/2/28 半日のみ活動

①ボランティア募集所別参加回数						
	石川県社協	おらっっちゃ七尾	労山石川	総社市	京都府	
2024年	21回	-	3回	8回	1回	42回
2025年	9回	26回	6回	-	-	41回
2026年	1回	6回	-	-	-	7回
計	31回	32回	9回	8回	1回	81回

活動先回数							
	七尾市	輪島市	志賀町	珠洲市	能登町	穴水町	
2024年	5回	10回	7回	5回	2回	2回	31回
2025年	26回	10回	5回	2回	-	-	43回
2026年	6回	-	-	1回	-	-	7回
計	37回	20回	12回	8回	2回	2回	81回

活動日数							
	七尾市	輪島市	志賀町	珠洲市	能登町	穴水町	
2024年	8.0日	11.0日	8.0日	8.0日	4.0日	3.0日	42.0日
2025年	42.0日	11.0日	5.0日	2.0日	-	-	60.0日
2026年	11.5日	-	-	1.0日	-	-	12.5日
計	61.5日	22.0日	13.0日	11.0日	4.0日	3.0日	114.5日

被災者宅活動軒数(家以外は含まず)							
	七尾市	輪島市	志賀町	珠洲市	能登町	穴水町	
2024年	11軒	15軒	9軒	9軒	6軒	6軒	56軒
2025年	47軒	9軒	10軒	3軒	-	-	69軒
2026年	12軒	-	-	1軒	-	-	13軒
計	70軒	24軒	19軒	13軒	6軒	6軒	138軒

活動日数 活動件数(家以外も含む)							
	地震		水害		その他		
2024年	29.0日	44件	10.0日	12件	3.0日	3件	59件
2025年	47.5日	59件	7.0日	10件	5.5日	6件	75件
2026年	8.5日	13件	-	-	4.0日	6件	19件
計	85.0日	116件	17.0日	22件	12.5日	15件	153件

「その他」は地震水害被災者宅以外の家も含む

月参加回数 (2024年3月は予約が取れず参加なし)						
	0回	1回	2回	3回	4回	5回
2024年	1回	1回	5回	3回	-	1回
2025年	-	-	8回	3回	1回	-
2026年	-	-	-	1回	-	-
計	1回	1回	13回	7回	1回	1回

1回ごとの参加人数回数					
	1人	2人	3人	4人	
2024年	3回	11回	7回	4回	25回
2025年	1回	26回	-	2回	29回
2026年	1回	5回	1回	-	7回
計	5回	42回	8回	6回	61回

ボランティアバス利用回数				
	金沢駅発 ボランティアバス	のと里山航空発 ボランティアバス	京都駅発 ボランティアバス	
2024年	11回	11回	1回	23回
2025年	5回	2回	-	7回
2026年	-	-	-	
計	16回	13回	1回	30回

⑪ 宿泊先と宿泊日数						
	農家民宿 農遊庵	SAPA道の 駅他駐車場 車中泊	日本航空 奥能登 ベースキャンプ場	大島、三 国山オートキ ャンプ場	おらっちゃん七尾 石崎保育園	
2024年	-	13日	12日	9日	-	
2025年	30日	15日	1日	2日	11日	
2026年	10日	3日	-	-	-	
計	40日	31日	13日	11日	11日	
	倶利伽羅 塾(旅館)	七尾野口 健テント村	ホテル 2日 夜行バス 2日			
2024年	2日	6日	4日			46日
2025年	4日	-	-			63日
2026年	-	-	-			13日
計	6日	6日	4日			122日

日本航空: のと里山空港に隣接する日本航空高等学校の学舎  
 奥能登 : 穴水町立旧日向洋中学校の体育館

京都府連盟ボランティア登録者				
	京都府連	滋賀県連	一般	
2024年末	15人	1人	1人	17人
2025年末	15人	1人	2人	18人
2026年3月	15人	1人	2人	18人

年途中で登録取り消し 2024年2人 2025年1人

ボランティア参加回数							
氏名	青山郁夫	青山久子	田中正和	石田久夫	西村澄子	松野周治	竹内麻結
会名	やましな山の会	やましな山の会	田辺山友会	右京労山	右京労山	西山ハイキングクラブ	乙訓山の会
2024年	22回	21回	4回	4回	3回	3回	1回
2025年	28回	26回	2回	-	-	-	2回
2026年	7回	6回	-	-	-	-	-
計	57回	53回	6回	4回	3回	3回	3回
氏名	居川均志	大畑一夫	中村好夫	入江しのぶ	青山聡美	田中順子	62回 61回 14回 137回
会名	乙訓山の会	一般	西山ハイキングクラブ	左京労山	LANTAN	一般	
2024年	-	1回	1回	1回	1回	-	
2025年	1回	1回	-	-	-	1回	
2026年	1回	-	-	-	-	-	
計	2回	2回	1回	1回	1回	1回	

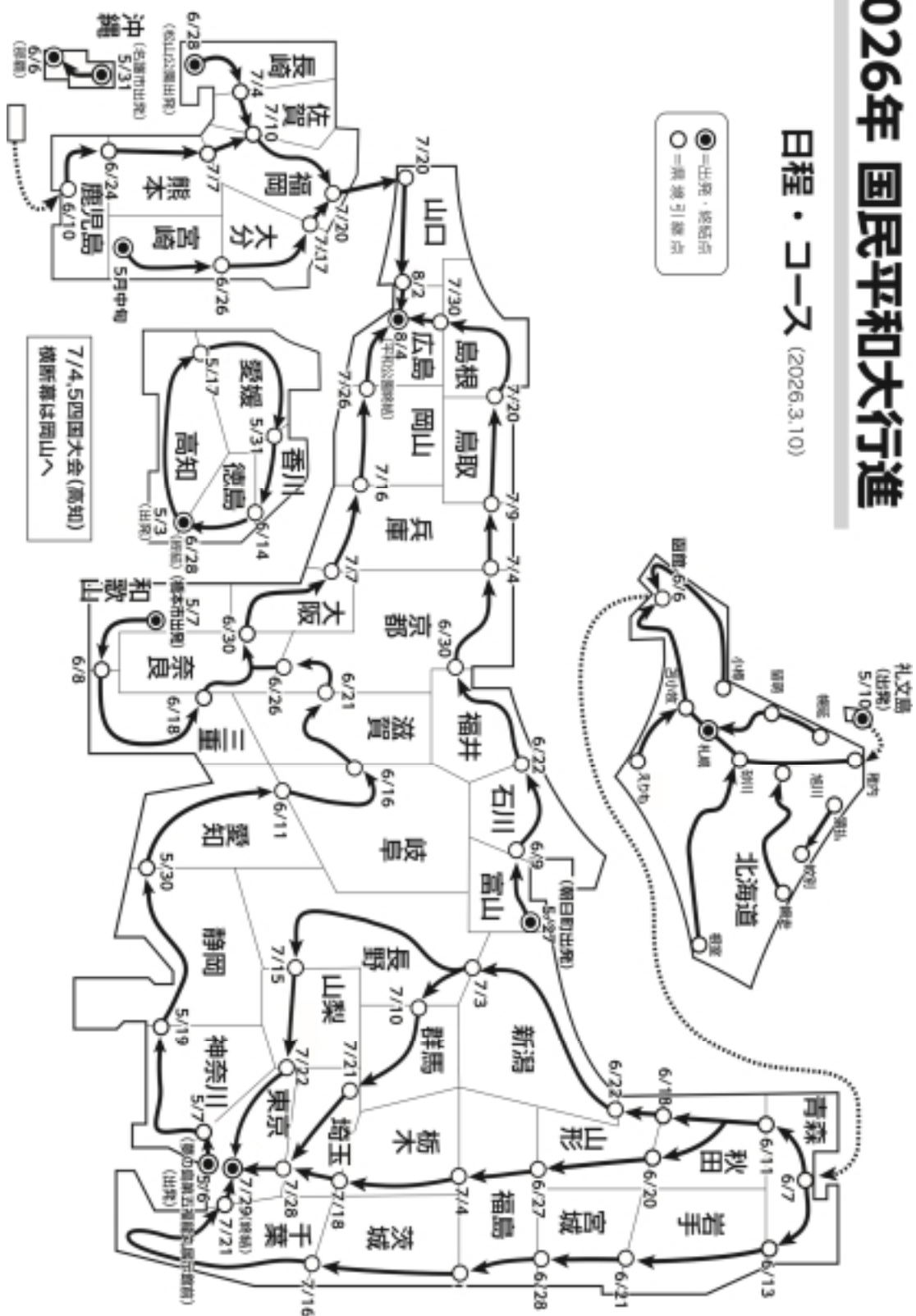
この他に田辺の田中さんは京都府連盟ボランティア登録前に 2024年 2/25 輪島市、3/14・15 珠洲市に参加しておられます。LANTAN は今は解散しています。

ボランティア参加日と活動先 ( )内は同行者人数 同行者 2 人の場合は郁夫同行、3 人以上は郁夫久子同行					
2024 年					
2/14	志賀町	石田久夫 松野周治(4人)	8/18	輪島市輪島	田中正和(1人)
4/3 4/4	七尾市	石田久夫 西村澄子(4人)	9/16, 9/17	珠洲市	竹内麻結(3人)
4/14	珠洲市	田中正和(1人)	9/28 9/29	志賀町 珠洲市	田中正和(2人)
4/22	七尾市	青山聡美(3人)	10/21 10/22	輪島市門前 輪島市輪島	大畑一夫(3人)
4/25	珠洲市	石田久夫(1人)	11/7 11/8	輪島市町野	石田久夫(3人)
5/15 5/16	七尾市	松野周治 入江しのぶ(4人)	11/28 11/29	穴水町	西村澄子(3人)
5/25 5/26	七尾市	田中正和(3人)	12/21 12/22	輪島市輪島	中村好夫(3人)
7/28 7/29	珠洲市	松野周治 西村澄子(4人)			
2025 年			2026 年		
1/18 1/19	輪島市輪島	田中正和(1人)	3/21 3/22	七尾市	居川均志(3人)
2/22 2/23	七尾市	竹内麻結 田中順子(4人)			
3/8 3/9	七尾市	竹内麻結 居川均志(4人)			
5/18 5/19	輪島市町野 七尾市	大畑一夫(2人)			
11/22 11/23	志賀町 七尾市	田中正和(2人)			

# 2026年国民平和大行進

日程・コース (2026.3.10)

- = 出発・終結点
- = 集結引継点



2026年5月吉日

地方連盟代表者各位  
各会・クラブ代表者各位

日本勤労者山岳連盟  
労山山岳事故対策基金運営委員会委員長 白井 邦  
遭難対策長 石川 昌

### COMPASS「オンライン講座」のご案内

日頃より労山基金の運営にご協力いただき、また、安全山行のご尽力に対して厚く御礼を申し上げます。

日本勤労者山岳連盟は、地図から登山計画を作成する登山届ツールとして、山と自然 ネットワークコンパス (COMPASS) の普及と活用を目指しています。今年の試みとして COMPASS 事務局の方を講師に迎えて、オンライン講座を開催することにしました。

については、グループ登録した際の山行届の作成、および山行管理の一環となるように事務局にお願いしてありますので、ご参加のほどよろしく願いいたします。

#### 記

**【日時】**: 6月10日(水) 19時~20時30分

**【参加方法】**: Zoom ミーティング による (MAX 300名)

**【参加対象】**: 既にCOMPASSアプリをスマホ/PCにダウンロード  
して利用しているが、よくわからない方

※参加申込者には URL ミーティング ID  
及び パスコードを別途通知する。

**【申込み方法】**: 右のQRコードよりお申し込みください。

※ご質問は申込フォーム内の質問記入欄にご記入ください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S388476267/>



**【申込期間】**: 5月11日(月) ~ 6月5日(金)

**【講師】**: 山と自然ネットワークコンパス (COMPASS) 事務局 今 様

**【講座の内容】**:

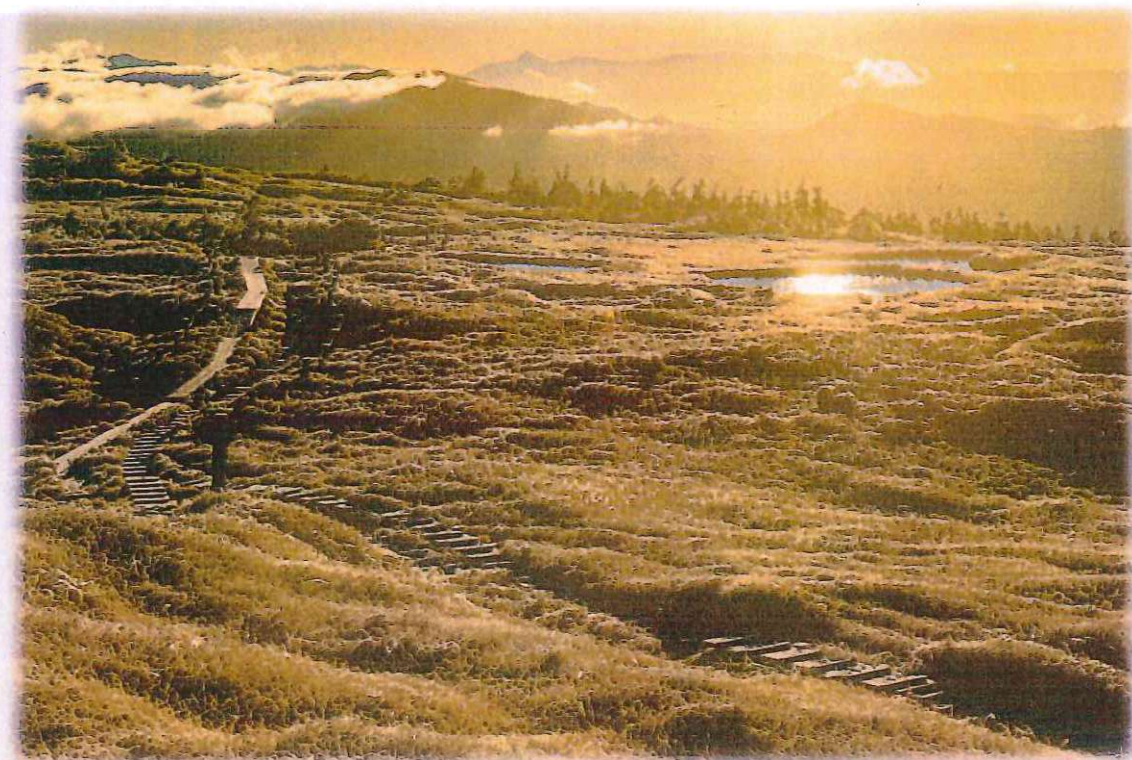
- 1 COMPASS の機能3つ (計画書の作成と共有、下山報告通知、相互扶助)
- 2 登山届の作成 「高尾山」を例にとって説明する
  - 2-1 オプション 同行者がいる場合
  - 2-2 オプション グループ (会・クラブ山行管理) の場合
  - 2-3 オプション 万一事故時の対応 (労山基金提出用 計画書の印刷)
- 3 その他 質問への回答

以上

☆問合せ先: メール [jwaf@jwaf.jp](mailto:jwaf@jwaf.jp)

# 労山カレンダー写真募集

2027  
年版



今回も労山会員の山写真でカレンダーを作ります。  
山や登山の素晴らしさ、魅力が伝わる1枚をお待ちしています。

## 応募規定

資格：労山会員

点数：一人5点まで

期日：2026年7月20日（月）必着

写真：横位置のみ、合成不可

・データの場合

1000万画素数以上（縦2500×横3500ピクセル以上）

形式はJPEGまたはTIFF

・フィルムカメラ作品の場合

B4サイズにプリント、もしくはデータ化したもの

・人物が主題の作品は、写っている人の許諾を得ていること

※写真はトリミングさせていただくことがあります。

※カレンダー（B4判・中綴じ）掲載時の仕上り寸法は257mm×364mmです。

採用作品は下記にも掲載いたします。予めご了承下さい。

- JWAF journal の表紙

- 日本勤労者山岳連盟ホームページのトップ

スマートフォンで撮影される方へ

毎年、素敵な構図なのに画質の問題で選考外になる写真が多数あります。

縦2500×横3500ピクセル以上のサイズで撮影してください。

## 選考規定

採用数：表紙および1月～12月の計13点

選考：小松由佳さん（フォトグラファー）

## 応募方法

WEB応募

<https://ws.formzu.net/fgen/S49439517/>



郵送 CD-R 又は USB で送付。フィルムカメラでの作品はデータ又はB4サイズのプリント写真で送付。

氏名・所属会・地方連盟・住所・電話番号・メールアドレス、各作品名・被写体の山名（山域）・撮影年月日を明記してください。

送付先

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24 日本勤労者山岳連盟

※返却を希望する場合は、返却先を記載して切手を貼った返送用封筒を同封してください。

募集締切

7月20日（月）必着

採用された方には謝礼2万円

すべての応募者にカレンダー1部進呈

## ちょっと一服

### 熱いお茶と甘いものはいかが

No.001

今月より、安価で手軽に家庭で出来るスイーツのレシピを連載します。ご指導いただくのは、橋本香代子さん（京都伏見山の会）です。ご覧ください。

#### いちご大福

今盛りのいちごを使って、電子レンジで簡単にいちご大福を作ってみましょう。

#### 材料（8個分）

いちご	：	8個	（小さめが、作りやすい）
あん	：	120g	（白あんでも、小豆あんでもよい）
白玉粉	：	50g	
さとう	：	50g	
水	：	90cc	
片栗粉	：	2分の1カップ位	



#### 作り方

- 1 いちごは洗ってヘタを取り、水気をふきとる
- 2 あんを8等分する いちごの先端4分の1ほど残して、あんて包む
- 3 耐熱容器に白玉粉、砂糖、水を合わせ、泡立て器で混ぜ、だまが無くなるまで完全に溶かす
- 4 フタ又はラップをして、600Wの電子レンジで3分加熱する  
木杓子でよく混ぜる
- 5 たっぷり片栗粉を敷いた皿に取り出し、片栗粉をまぶして8等分する
- 6 いちごの先端から生地を包んで、すそでとじる いちごの赤い色がうつすら、すける様にするとうい

30分程冷蔵庫で冷やすと、一層おいしくいただけます。

香代子

**5(土) 自宅~利賀・栃尾谷登山口~往復 上り 1h55(3h20) 下り 1h11(2h25) 計 3h24(5h45)**

02:00 過ぎ自宅発~北陸道・神田 PA 仮眠~尼御前 SA 給油~砺波 IC~スノーパレー利賀~

07:35 利賀・栃谷登山口着。Pは20台程のスペースで先着車10台程。釣り人も多い。県道脇の川沿いにサンカヨウやニリンソウ等が群生。花の多い山域の様で楽しみだ。

07:52 栃谷登山口~登山道は川沿いの道でサンカヨウやウバユリ・エンレイソウ・座禅草が群生。座禅草は苞を残し乍ら葉を大きく広げていた。川から離れるとブナ林の中の道。1km・2km...と登山口からの距離表示があり、4km 標が1346mピーク辺りで山頂が見える。他にも0.5km毎に栃谷少年自然の家が付けた標がある。ツバメオモトや紫ヤシオツツジが咲いている。本当に花の多い山だ。

08:53 緩やかな稜線歩きの後 1451m 峰着。この手前は稜線の左側が崩れ柵がある。ロープが張ってあるが支柱が谷へ折れ曲がっている。ここからは山頂を見乍ら登る。残雪と新緑のコントラストが美しい。

09:33 前金剛山頂 1637,9m。記念碑や祠がある。先着3人。写真を撮って貰う。白山・御嶽・乗鞍岳・北アルプスを遠望。少し霞みがかかっているが眺望を楽しむ。

09:47 中金剛山頂 1650m。ここは小さな表札のみで前金剛と比べてとても淋しい。奥金剛への道が続く。奥金剛は1616m。時間があれば行きたい処だがこの後の大日ヶ岳へ登るため断念。残雪で覆われた山容を見て引き返す。

10:00 中金堂に戻る。次々と登って来る20人程の人達とすれ違い乍ら下る。4km 標手前の右斜面の林の中にカタクリの群生があった。

11:16 登山口着。トイレは避難小屋が併設されている。水洗でペーパーも置いてある。林道を次々登って行く車がある。通り抜けられるのかと下って来た人に聞いたがそれは出来ないらしい。

11:25 トイレを済ませ大日ヶ岳へ移動。R471 へは戻らず山の神峠~平~五箇山~菅沼~白川郷へとR150を下る。合掌村は何処も満車で凄い人出。以前家族旅行で訪れた時の事を思い出し乍ら通過。いつかは行きたいと思っている白山大白川登山口への入り口を確認。御母衣湖を過ぎ、ひるがの高原へ向かう。



## 6月号案内

### 表紙の絵

屋根谷 克己 さん (らくなん山の会)

#### パフィオペディルム

宇治の植物園の温室に3回ほど描きに

いったと記憶しています。

\*イランを巡る中東の戦争で、ホルムズ海峡を通るタンカーの移動が制限されて石油危機は深まり、日常生活に影響がでています。

政府は「ナフサは十分確保されている」としていますが業界ではナフサ不足で悲鳴があがっています。

長年カラフルな色で親しまれていたスナック菓子の袋がとうとう白黒になってしまいました。他の業界も続くところが出てくるかも知れません。

工作機械業界に欠かせない機械の潤滑油や切削油剤も品薄状態で大量発注の所に優先して流すとしています。

石油不足を解消するためとしてウクライナ侵略しているために経済制裁されているロシアから石油を輸入するという動きもあります。道理や正義は何なのかとなってしまいます。

唯一の被爆国であり、武力で他国を侵略しないと決意した憲法をもつ日本こそ率先して戦争ストップ・平和提案を迫力をもって実行できる立場にあると思えますが。

#### <お知らせ>

#### 表紙のイラストや写真を提供ください

労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方」など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています

**【投稿先】** 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス [hirossan-1954@nifty.com](mailto:hirossan-1954@nifty.com)

\*原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

\*字体 MS明朝体 11P 余白上、左、右各20mm 下23mm



## 2026年 京都府連盟 月間予定表

6月（水無月・JUN）		
1	月	自然保護委員会
2	火	事務局長会議
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	クリーンハイク
8	月	常任理事会
9	火	
10	水	全国連盟「CKMPASS」オンライン講座
11	木	
12	金	
13	土	自然観察会・鏡山 大文字山登山道整備
14	日	
15	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策部
16	火	教育委員会
17	水	60周年実行委員会
18	木	
19	金	やまびこ利用日
20	土	
21	日	国民平和大行進 滋賀ー京都引き継ぎ
22	月	常任理事会
23	火	気象勉強会
24	水	
25	木	
26	金	国民平和大行進 京都ー奈良 引き継ぎ
27	土	
28	日	無雪期搬出訓練
29	月	
30	火	国民平和大行進 福井ー京都引き継ぎ

7月（文月・JUL）		
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	国民平和大行進 京都ー兵庫 引き継ぎ
5	日	
6	月	自然保護委員会
7	火	事務局長会議
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	大文字山登山道整備
12	日	
13	月	常任理事会
14	火	
15	水	60周年実行委員会
16	木	
17	金	やまびこ利用日
18	土	
19	日	
20	月	海の日
21	火	京都労山印刷 遭難対策部 ハイキング委員会 教育委員会
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	常任理事会
28	火	気象勉強会
29	水	
30	木	
31	金	